

おでかけのときは、こんなことに気をつけよう!

おでかけするときに、ベビーカーや自転車などに、子どもを乗せることがあります。安全なところに座らせているから安心と思っていても、子どもが手を伸ばしたり、立ち上がったときに、バランスを崩し、転倒する危険があります。

ベビーカー

電車に乗るときは、駆け込み乗車をしないようにしましょう。また、ホームでは、ベビーカーにストッパーをかけましょう。エスカレーターのステップの奥行よりベビーカーが大きい場合、転落の危険があります。周囲の人に手伝ってもらって折りたたんで乗るか、エレベーターを使いましょう。

自転車

子どもを自転車に乗せるときは、子ども用座席に正しい使用方法で乗せましょう。子ども用ヘルメットは、転倒したとき、子どもの頭を守ります。サイズの合ったものを使いましょう。

ショッピングカート

誤った使い方は、事故につながります。正しい使用方法を守って乗せましょう。

子どもの目の高さを意識しよう

抱っこ、おんぶ、ベビーカー、あんよ…それぞれの子どもの目線で、どんな危険があるか考えてみましょう。

車に乗るときは、こんなことに気をつけよう!

交通事故

チャイルドシートの使用は保護者の義務です。子どもの年齢にあったチャイルドシートを正しく取り付けましょう。また、車の発進、駐車、乗り降りするときには、車の近くに子どもがいないか確かめましょう。

車内での事故

車のドアや窓を閉めるときには、子どもの指や頭をはさんでしまう事故が起りやすいので、気をつけましょう。また、車中温度は外気温よりも高くなるため、熱中症が起こりやすくなります。熱中症は命に関わるので、子どもを車内に残したまま、車を離れないようにしましょう。

子どもの視界体験 ~チャイルドビジョン~

学習ソフトにあるように、子どもの視線は大人より低く、また興味のあるものに夢中になると、他のことに注意が向きにくく、周りがあるものが目に入らなくなることがあります。そのため大人には見えている車が、子どもには見えず、事故にあうことがあります。大人が子どもの視界を体験できる「チャイルドビジョン」を使うと、道路での危険がわかります。チャイルドビジョンは、都内の保健所・保健センターや児童館などにあります。体験してみましょう。

チャイルドビジョン

